

教材教員および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	教員名
トマトをそだてよう	小	学級活動 5年 (図工・生活)	小西

<ねらい>

- ・作る活動で取り組むことで、よりトマトの栽培に気持ちを向けたり、成長を感じたりしよう。
- ・身近な道具や素材を使いながら作る。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- 全4回の授業①鉢、土づくり、葉を描いて茎に見立てたひもの周りに張り付ける。
 ペットボトルに見立てた鉢にボール紙を丸めて作った土を入れ、そこに茎に見立てたひもを入れる。成長とともにひもを伸ばしていく。黄緑の画用紙に、ペンで葉を描き、その形にハサミで切り取る。
- ②花が咲いた頃に、黄色の折り紙を折って花を作る。
 折り紙を四つ折りし、端をねじる。テープで葉、茎の周りに張り付ける。
- ③緑の実がなった頃に丸めたトイレトペーパーの周りに緑のビニールテープを貼りつけ、実を作成する。
- ④実が赤くなってきたころ、赤い粘土を使って実を作る。葉を作り足す。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

良かった点は、葉を描いたり実を作ったりするうえで、トマトをよく観察するようになり、葉の特徴などを捉えることができたこと。緑の実を作ったことで、トマトは緑色から赤色になり、赤色になったら食べられるということを学習できた。身近な素材や道具を使うことで、どの児童も自分で取り組めた。改善点は、児童たちの身近な道具や素材を使ったことや、壁面に飾ったことで作品の強度が弱く、実などが取れやすかった。教師の手直しが必要なところもあった。（実を針金でつけること）児童の中には、トマトの成長に合わせて自分から茎を伸ばそうとしており、トマトの成長をより感じる事ができたのではないかと思う。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・模造紙、画用紙、ペットボトル、ボール紙、ひも、トイレトペーパー、折り紙、ビニールテープ、粘土